

水をきれいに

宮崎 桃

志免町立 志免中央小学校

わたしが、多々良川浄化センターに見学について学んだことは、下水道のことや、汚水をきれいにする方法のこと等たくさんのことをしてりました。

下水道は、お風呂や食器をあらうのに使ったあとの、よごれた水をきれいにするために通る道です。使ったあとの水は川にいった、そのあとには海に行きます。ですが、そのよごれた水のままで川や海に流れてしまうと、魚のすみかがなくなってしまうたり、魚がびようきにかかったりしてしまいます。そして、魚がいなくなってしまうたら、わたしたち人間の食料がなくなってしまうです。そうならないように、下水道で水をきれいな水にしてから、川や海にきれいな水を流すと、魚も人間も安全にくらすことができます。

汚水をきれいにするために、び生物が小さなよごれを食べて、よごれをぶんかいしています。そのあとに、ろかをして、さいごにしようどくをしてから、きれいな水がかんせいします。そのきれいになった水を、川から海におくっています。そのおかげで、魚も人間も安全にくらすことができます。

多々良川浄化センターの見学で、このようなたくさんの方がしました。水のことや、下水道、汚水をきれいにするために使う機械のことについて、たくさんの方の話を聞いたから、水をきれいにすることに、こんなにたいへんで、時間がかかることをして、「もっと水を

大切に使わなきゃな。」と思いました。なので、水を大切にするために、気をつけようと思います。例えば、水を出しっぱなしにしないように気をつけたり、一回で使う水の量をへらしたり、たくさんのごんぱつても心がけたいです。水をきれいにするために、たくさんごんぱつてもらえているので、すこしだけでも、やくにたてたら、うれしいです。多々良川浄化センターで学んだ事を、おうちのひとかに伝えたいと思います。水を使う時も、多々良川浄化センターのみなさんが、ごんぱつてきれいにしてください。ごんぱつていことをわすれずに、大切に水を使っていきます。

多々良川浄化センターのみなさんが、ていねいにおしえてくださったおかげで、たくさんの方がしました。大きくなって、今回おしえてもらったことをわすれずに、生活していきます。

一番心にとった所は、地下室で見たプロジェクトの説明が、機械のはたらきがたくさんしたので、一番心にとりました。

これからも、水の大切さをわすれずに、生活していきたいとおもいます。